

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【公表番号】特表2010-517481(P2010-517481A)

【公表日】平成22年5月20日 (2010.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2010-020

【出願番号】特願2009-548314(P2009-548314)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 4 2 3

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年6月24日 (2013.6.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 6 】

W T R U における不連続受信を制御するための方法および装置が開示される。この方法は、複数の D R X レベルを定義することであって、各 D R X レベルがそれぞれの D R X サイクル長を含むことと、1 組の基準に基づいて、D R X レベル間を移行することとを含むことができる。移行は、黙示的なルールによってトリガすることができる。トリガは、例えば測定イベント、タイマ、カウンタまたはダウンリンクコマンドによって呼び出すことができる。D R X 状態間の移行は、明示のシグナリングなしに生じ得る。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 3 】

e N B 1 2 0 は、ネットワークトラフィック監視動作および分析に基づいて、D R X パラメータを構成することができる。黙示的な D R X 移行動作のために定義されるデフォルトのシステム値の組を含めることによるなど、パラメータ値を選択するためのいくつかの方法が存在する。任意選択で、パラメータは、システム情報ブロードキャストの中で公開されたり、またはそのときそのときで e N B 1 2 0 によって決定され、および、目的の D R X モード期間より前に、上位層のシグナリングを介して、特定の W T R U 1 1 0 へロードされたりすることができる。